

北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
〒803-0817 北九州市小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel.093-592-5000 Fax093-571-4346
E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

北九州革新懇 インタビュー

プロフィール 中西 正之 (なかにし まさゆき)

香川県生まれ、静岡大学工学部機械工学科にて学ぶ。卒業後、耐火レンガ会社のエンジニアリング事業部に就職、専門は燃焼炉。46年間勤務し、その後、脱原発運動に参加。日本科学者会議福岡核問題研究会に加わる。耐火物技術協会の元会員。ほぼ毎日メールにて、各方面に脱原発関連の最新・重要情報を発信している。趣味は写真。



今回は、日本科学者会議福岡核問題研究会の中西正之氏にインタビューをお願いし、八幡西革新懇から事務室長・嶋と世話人の池村がお話を伺いました。

嶋: 脱原発の立場で真剣に原発の危険性や再稼働反対を訴えておられますが、そもそもこうし

た事に関わるきっかけや思いはどのようなところからでしょうか。

中西: そうですね。放射性廃棄物の焼却溶融処理設備も、もともと専門でやっていました。耐火物を扱うのは日本では1社。放射能のある所でも仕事をしていました。その当時の会社は放射能防護には相当のお金をかけていましたし、若い人には絶対に現場に行かせない様に注意を払っていましたが、それでも原発関連の他のところ

は本当にいい加減、危険な状態で作業に従事させられていることを知っていました。3・11福島事故が起き、福島の事故の環境は劣悪、被爆の問題、これまでのやり方ではだめと感じました。退職をしたばかりだったので、脱原発の運動に加わることになりました。

嶋: 安倍政権の原発政策、原発の現場の問題点

等について、どんなふうに考えておられますか。

中西: 安倍政権の原発政策はむちゃくちゃです。

原発再稼働の必要性がないし、動かす意味があ

りません。

調べれば調べるほどひどいことが現場では行われている、本当の関係者しか知らないことが幾つもあり、秘密にされてきました。原発には労働組合は入れません。原発の現場は特殊な世界です。関係者は危険なことと知りつつやっています。それを平然と進めている、大変危険です。そ

嶋:最近、「玄海原発の再稼働を阻止するための戦略戦術の提案」を強く訴えられていますが、

中西:そうですね、新規制基準の内容と、玄海原発の再稼働申請書を詳しく調べてみると、過酷事故対策に大問題がいくつもあることが分かりました。

○免震重要棟の建設やフィルター付きベントの設置を5年間猶予 ○原子炉建屋がなく格納容器をコンクリートで建設 ○コアコンクリート反応対策がない ○水蒸気爆発対策がない ○水素爆発対策が爆発限界ぎりぎり ○核燃料の冷却水が送れなくなると、2時間ほどでメルトダウンがおり格納容器が破裂する恐れがある等。

○2014年5月21日の福井地裁「大飯原発3・4号機」運転差止め判決(樋口英明裁判長)は、「人格権」を尊重する画期的なものでした。しかし、過酷事故対策問題は残念ながら取り上げられていません。その後、2016年3月9日、大津地裁「高浜原発3・4号機」運転差止め仮処分(山本善彦裁判長)で、「第4層、第5層の対策が不備」と指摘し、高浜原発の運転を止めることができました。この大津地裁の判決

嶋:そうですね、「5層の深層防護対策」ですね。私たちが注目していきたいと思います。最後にな

中西:これからもインターネットなど広範囲に脱原発の有効な情報を発信していきたいと思っています。是非、「科学技術論争」・国際原子力機関(IAEA)の「深層防護」の考え方を革新懇の運動の中でも広げてください。今、「伊方原発仮

嶋:お忙しいなか、本当にありがとうございました。

して、そうした裏で莫大なカネが動いています。この二つはまず大問題だと思います。

元請けがいいかげんなことをしています。被爆をするので、原発の現場には熟練工ができない、だまされし作業をやっています。危ないけれど当面はいいだろうと・・・。原発会社の担当者さえ現場中枢には近づきません。

その思いを語ってもらえますか。

こうした危険性を脱原発運動の人たちに伝えてきましたが、実はもう一つ重要な点あると思っています。それは、ひと言でいえば「科学技術論争」が欠如しているのではないかということです。具体的にいえば、国際原子力機関(IAEA)の「深層防護」の考え方が取り入れられて来なかったということです。IAEAは、原発には100%の絶対的な安全対策はないと考へ、原発の安全対策を厳重な5層の深層防護対策をとっています。私はこの視点を脱原発運動の戦略に加えなくてはいけないと訴えてきました。

は大変重要で、このなかにIAEA(国際原子力機関)の深層防護の考え方が明確に打ち出されています。これまで2年余り、日本の原発の過酷事故対策の不備をさまざまな場でお話してきましたが、大津地裁の山本善彦裁判長の判決で、運転中の高浜原発が停止するという思ってもみなかったことが起こり、新しい道が開け苦勞が報われる思いです。

りますがこれからの抱負、革新懇への意見などがあればお願いします

処分」裁判が、広島地裁、松山地裁、大分地裁で始まっています。元燃焼炉設計技術者として、これからも過酷事故対策の不備を訴え続けていきます。



玄海原発を上回る発電量、響灘に140基の風車！ 見て、聞いて、守ろう安全な街

若松革新懇事務局

若松革新懇では、5月10日、見学と出前講演、学習会にとりくみました。26人が参加、会員が2人増えました。

若松沖に洋上風力発電の風車を140基建設する計画がいよいよ具体化することになり、その計画の内容について、山内涼成市議より報告を受けました。若松区民にはほとんど知らされていないことですが、響灘に面している下関の安岡地区では低周波などの影響を懸念して反対運動が起こっていると聞いています。ゴミで埋め立てられた土地にはメンテナンスを行う会社も設立するとのこと、それらは若松区民の生活にとってどんな影響があるのかさらにくわしく知りたいと、環境団体や区民の会に呼び掛け、拡大世話人会として八記博春市議を講師に学習会を開きました。計画されている洋上風力発電の規模の大きさにはみんなびっくり、くらしや人体への影響、漁業への影響など想像がつかません。

もっと多くの区民に知らせ、くらしや低周波による人体への影響などについてみんなで考えようとりくんだものです。



「環境未来都市北九州次世代エネルギーパーク」として埋立地にはエネルギー施設がズラリと建設されています。響灘エネルギー産業拠点推進課期成会が作成したパンフを見ながら建設予定地を見学。この期成会というのは平成27年5月に発起人会が開催されましたがメンバーは、

北九州商工会議所会頭・九州経済連合会会長・経済同友会代表・産業学術推進機構理事長・福岡県経営者協会会長・洞海港運協会会長・日本船主協会議長・ひびき灘開発社長・北九州市長です。市民の声が反映されることはありません。

出前講演では環境局環境未来都市推進部地域エネルギー推進課の職員から環境局作成のパンフを使って説明がありました。漫画や写真入りの7つのQ&Aで火力、太陽光、風力・水力発電の特徴やメリット・デメリットを説明、ベストミックスを目指しているとのこと。また若松区響灘地区は広大な用地があり風況も良いし化石燃料もあるから、太陽光・風力・火力発電に向いているということで、危険な白島石油備蓄基地があること、低周波など市民生活への影響については一言も説明がありませんでした。会場からは市民生活への影響について不安の声が多々だされ、計画については市民に前もって十分に説明すること、市民の声をよく聞いて進めるよう強く要望しました。

学習会では山内・八記両市議から、バイオマス発電・LNG火力発電・洋上風力発電・太陽光発電などについてさらにくわしい説明がされました。

響灘に建設される洋上風力発電の風車は1基0.5万KW(現在あるのは0.15万KW)で羽の直径は130mです。風車間は羽の直径の10倍あけなければならないので、140基造るとなると膨大な広さとなり沖合では着床ではなく浮かせるというのです。台風のような風が吹いた時のことを考えると不安がいっぱいです。低周波の人体への影響はまだ未解明です。

原発はもちろん反対、火力発電もCO2の発生はさらに抑えなければなりません。自然エネルギーの活用については賛成ですが今回のような計画についてはすべて賛成というわけにはいきません。市の計画を市民に広く知らせ、学習もさらに深めながら、みんなが納得できる次世代のエネルギーについて考えていきたいと思えます。

小倉南革新懇第6回総会に46名参加！

記念講演「国会報告と国民連合政府の展望」

講師 真島省三氏(日本共産党衆議院議員)

6月4日小倉南区生涯学習センターで革新懇総会が開催されました。46名が集まり盛会でした。有馬和子世話人の開会挨拶で北九州革新懇が結成15周年を迎えたことを知りました。記念講演で真島省三衆議院議員＝写真＝の「国会報告と国民連合政府の展望」と題する話がありました。参院選では野党4党が①戦争法廃止②立憲主義回復③アベノミクスによる格差拡大解消④TPP反対⑤沖縄の辺野古基地移設反対の5項目で共闘することが合意されたそうです。アメリカはイラク・アフガン戦争で帰還兵280万人のうち毎年8千人が自殺しているそうです。53%以上がPTSDで病んでいるとのこと。人間性を壊すのが戦争です。テロは戦争では失くせません。

日本共産党は①税金の集め方(応能負担)②税金の使い方(社会保障・医療教育への公費負担の充実)③働き方の改革(ブラック企業規制・同一労働同一賃金・労働法制の改革)を掲げ選挙戦に臨みます。又、矛盾だらけの原発政策(避難できない避難計画が熊本地震で明らかに)

沖縄の辺野古基地移設問題では翁長知事の権限で埋め立て取り消しを警戒し和解せざるを得ない現状が報告されました。



野党4党が32の一人区で共闘することが決定し参院選に突入すること。共産党は比例の改選3から9へ躍進することを目指しているそうです。【文責・美濃部 勝】(2016年6月5日小倉南革新懇ニュースから)

6月11日、北九州革新懇総会が開催されました

6月11日(土)、「戦争法廃止へ野党・市民の共闘で参議院選挙を必ず勝利しよう！」のスローガンを前面の黒板に張り出して、2016年度北九州革新懇総会が開催されました。最初に、田村貴昭衆議院議員が、パワーポイントを使って国会情勢と参議院選挙をめぐる全国の情勢をわかりやすく訴えてくれました。



来賓として参加された福岡県革新懇の平川一郎事務局長からは、自身が参加した第36回全国革新懇総会の報告で、戦争法廃止の闘いの共同と広がり、北海道5区補欠選挙の共闘の様子、沖縄革新懇の闘いや、一人区での野党統一候補擁立の動きなどが語られました。そのあと事務局の提案を受けて各区革新懇の活発な活動報告、河村智重子さんからの10月に開く「慰安婦問題の吉川春子講演会」について、嶋田昭英小倉民商会長からは消費税増税で強者の営業と生活の深刻な実態の報告と是非民商会員の店で買ってくれと訴えがありました。最後に2016年度北九州革新懇活動方針と予算案が全員の拍手で採択され終了しました。